

「自ら学ぶ人」「豊かな心を持つ人」「すこやかに生きる人」

発行 足立区立入谷南中学校

発行日 令和5年4月11日



# 南中だより

## 4月号

<http://www.adachi.ed.jp/adaimi-j/>

HP



### 4月を迎えるにあたって

校長 遠藤 映悟

令和5年度が始まりました。新型コロナウイルスもかなり落ち着き、マスクの着用が緩和されたりと今年度の学校生活は今までと大きく様変わりを始めています。そのような中で入谷南中学校としてどのようなことができるのか、生徒たちをしっかりと成長させるための学校運営を、教職員一同「チーム入谷南中」として「見落とさない、見過ごさない、見放さない」を合い言葉に進めていきます。

さて、4月は新しい出会いと抱負を持ってスタートをする季節です。生徒の皆さんは、それぞれ進級・進学して、新しい担任、新しい友達との出会いが待っています。みんなわくわくすると同時に、これから1年間しっかりと頑張ろうと決意を新たにすること大切な時期ですね。「昨年度の反省」＝「学習面でも生活面でもできたことをさらに伸ばすこと、そしてできなかったことの反省」を十分に生かすことが必要です。人間は経験の生き物ですから、経験と反省から成長していくことが必要ですね。私の生活信条は「ポジティブ・シンキング」です。反省ばかりで気持ちを沈めるのではなく、「自分ならこのようにやっていく」「ここで立ち止まらない」「気持ちをしっかりと切り替える」「前向き思考で物事に取り組む」ことで「今までできなかったことができるようになり、自分の成長を実感し、自分に自信がもてる」のです。生徒の皆さんも心がけてみてはいかがでしょうか。教職員も新たなメンバーを加え生徒の皆さんを「チーム入谷南中」としてあらゆる面でサポートしていきます。困ったことや悩み事は必ず保護者の方、そして先生方にも相談してください。人生の先輩として適切な助言をしてくれるはずですよ。

中学校生活は本当に短いものです。3年生の皆さんは残り1年、自分の将来の進路に向けてじっくり・しっかり取り組む必要があります。そしてすべての行事に「中学校最後の・・・」という言葉がついてきます。悔いの残らないよう学習に行事に部活にそれぞれ精一杯取り組み、入谷南中の最上級生として羽ばたいてくれることを期待します。2年生の皆さんは残り2年ですが、今年の夏休み以降はこの入谷南中を背負っていかねばなりません。いつまでも先輩方の後ろ姿を追いかけただけではいけませんね。前期は先輩と共に学習や行事・部活に取り組み、後期は自分たちが中心となって入谷南中を盛り立ててくれることを期待します。

さて新入生の皆さん、ようこそ入谷南中へ。6年間という長い小学校生活に別れを告げ、いよいよ義務教育の最終段階を迎えます。新しい中学校生活に胸をおどらせると同時に、もしかしたらちょっぴり不安もあるかもしれません。そんな新入生を入谷南中の先輩たちは温かく迎えてくれるはずですよ。小学校時代は最上級生でもここでは1年生です。がんばる先輩たちの姿を追いかけてください。そうすればきっと新しい景色が見えてくるはずですよ。

今週13日には区の学力調査(3教科)も控えています。進級・進学して初めての学力調査です。自分の昨年までの学習がどこまで身についているのか、できるようになっているのか、足りない部分はどこか確認するよい機会です。家庭学習等十分に対策して、当日は真剣に取り組みましょう。あなたたちの本気を見せてください。

保護者・地域の皆様、様々な場面で今まで以上に生徒の活躍・成長・躍動する姿を通して本校の学校教育をご理解いただき、皆様方に信頼される学校経営を行う所存ですのでどうかよろしくお願ひいたします。もし不明の点があれば、学校におたずねください。